



園のたより 2月号



♪おにはそと ふくはうち

ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと
おには こっそり にげてゆく♪

二十四節気の大寒から立春にかけ、1年の中でいちばん寒い季節となりました。そんな中でも、固くとざしていた梅のつぼみは少しずつほころびはじめ、自然はひっそりと、でも確実に春を迎える準備をしているようです。

厳しい寒さが続いています。お子さま達はひんやりとした空気を肌で感じたり、自然の中でできた霜柱や氷を見つけたりと、この時季ならではの発見をしています。

また、桃のつどいの練習が本格的に始まり、グランディオオーソホールでは、ドリーム組・幼児組のお子さま達が元気に表現する事を楽しんでおります。当日、大好きなお家の方の前で発表する事を心待ちにしている様子です。

今年度も残り2カ月となりました。お子さま達の成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごして参りたいと思います。

2月の予定

1日	木	安全チェック 桃のつどい ビデオ撮影(2~5歳児) 節分~豆まき~
3日	土	桃のつどい(グランディオオーソホール)
6日	火	乳児健診
7日	水	避難訓練(地震・火災)
15日	木	けいあいもぐもぐタイム (マナー指導)
16日	金	防犯訓練 ドリーム組進級準備会
21日	水	コスモスフォーラム(コスモス組)
24日	土	布団乾燥

3月の予定

5日	火	在園児とのお別れ会
9日	土	卒園式

●節分~豆まき~

「鬼はそと 福はうち」●

節分の行事にちなんで、「鬼はそと 福はうち」の紙芝居を各クラスで読みました。節分は季節の移り変わる時、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という願いを込めて、悪いものを追い出し、幸せ多い春の訪れを祈る行事です。

2月1日(木)には、折り紙などを丸めて作った手作りの豆を使って、豆まきを行う予定です。

●ドリーム組進級準備会について●

2月16日(金)に幼児組進級に向けて、進級準備会を予定しております。詳細が決まりましたらお知らせ致します。

●初任者研修・保育実習生受け入れについて●

近隣小学校の教諭や保育士を目指す学生の研修や実習の受け入れをしています。その際、事前にオリエンテーションを行い、個人情報の取り扱い、体調管理を徹底して頂く事や配慮事項等を伝えています。どうぞご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

5歳児コスモス組

●「コスモスフォーラム」について●

- 日時：2月21日(水) 3:00~4:00(予定)
- 内容：お楽しみ企画

短い時間ではありますが、お子さまと共に思い出に残るひと時を過ごしていただければと思います。

また、敬愛学園の第三者委員である加藤康紀先生による「小学校入学に向けてのお話」の動画を後日配信いたします。コスモス組の保護者の皆様はぜひご覧ください。

★加藤康紀先生のご紹介★

公立小学校校長・幼稚園園長、大学・大学院准教授、「教育新聞」特別教育相談員の担当等を経て、現在、府中市学校評価委員・新宿区特別支援教育スーパーバイザー

★お迎え後のお願い★

駐車場・駐輪場の台数は限りがありますので、お子さまのお迎え後は園庭や近隣の公園では遊ばずに速やかや降園をお願い致します。

敬愛学園のホームページには、行事の様子や園だより等が掲載されております。毎月掲載されている「保育のプロによる月間コラム」の1月号は当園園長が担当しています。ぜひご覧ください。

1月号 コラム 創作劇活動を通して、お子さまの心の育ちを育む

2024年 新しい年を迎えました。保育園では凧揚げやかかるた等、お正月ならではの遊びを楽しむお子さまの姿が見られます。

1月になると保育園では2月に開催する「もものつどい(表現発表会)」の練習が始まります。「もものつどい」は敬愛学園の桃の園章にちなんで名づけられた表現発表会です。毎日の保育園生活の中で各学年の発達年齢に応じて、お子さまがお友達や先生達と過ごす中で楽しく取り組んでいるリズムやオペレッタ、器楽合奏など、音楽・言語・表現教育活動を発表します。

毎年5歳児クラスは「もものつどい」の中で創作劇を発表します。一年間の保育の中で大切にしてきたクラスモットーを基に、四季折々の様々な経験の中で育まれたお子さまの心の育ちをストーリーに重ねながら、お子さまと担任保育士で作り上げていきます。

5歳児クラスの「もものつどい」のねらいは、「友達と一緒にお話を作り上げていく楽しさを感じる」「全員で気持ちを一つに助け合いながら創作劇に挑戦し、人前で表現する達成感や満足感を味わう」「日常の経験を音楽や言葉を通して表現発表することを楽しむ」の3点です。

今年度のクラスモットーを「やってみよう！コスモス研究所」とし、様々なことに挑戦してきた中で、お友達と意見が合わなかったり自分に自信が持てなかったりと、お子さま一人一人が体験してきた思いを『きみのこころをつよくするえほん』との出会いにより、お互いを認め協力しやり抜く力として育まれてきた心の育ちを表現します。今年度の創作劇のタイトルは「だいすき モヤモヤくん」です。

「こんなときどうする？」「お友達はどのように思ったかな？」「なんて言ってあげればよかったのかな？」等、実際に4月から起きたことを振り返りながら、「やってみよう！コスモス研究所」としてお子さまと保育者でお話を作りました。お友達の意見を聞く、相手の考えることに気づく、そしてまたみんなで考える…この繰り返しがまさに主体的で、対話的な深い学びにつながりアクティブラーニングの実践となっています。

もものつどい当日のお子さまの出来不出来ではなく、相手の良いところを認め合いながら、お話を友達や保育者と意見交換しながら作りあげていく、この過程の中でのお子さまの心の育ちこそが最も大切なことだと私たち保育者は考えています。

「もものつどい」が終わると、就学迄2カ月足らずとなります。「自分たちで意見を出し合い、考え、力を合わせて表現活動をした。」この経験を、自信につなげ歩むことが出来るようお子さま達を見守りたいと思います。

2024年も お子さまが心身ともに 健やかに成長されますように。